

# 2020年度 第3四半期報告の概要

2021年2月12日  
明治安田生命保険相互会社

## ■ 新型コロナウイルス感染症に関する主な取組み

### お客さま

2020年3月～9月 ■保険料払込猶予期間の延長や、新規契約者貸付に対する利息減免の特別取扱い など  
 2020年4月～ ■新型コロナウイルス感染症を原因とした死亡・高度障害に対する災害死亡保険金のお支払い等の特別取扱い

※ご利用いただいた特別取扱いの申込状況、新型コロナウイルス感染症を対象とした保険金等の支払状況はP 3に記載

【追加】

2021年1月～ ■緊急事態宣言が再発令された対象地域のお客さまに対し、保険料払込猶予期間の延長の特別取扱い など

※最新のお取扱いにつきましては、当社公式ホームページ等をご確認ください

### 地域社会

2020年度上半期

2020年度下半期

「私の地元応援募金」の実施  
 【全国1,210団体に総額5.2億円】

■全国各地域で支援を必要としている自治体や医療機関等を対象に、従業員募金と会社寄付のマッチングによる「私の地元応援募金」を実施

東京都および大阪府への寄付  
 【総額1億円】

■地域社会支援の一環として、東京都と大阪府に各5,000万円を寄付

「あしなが育英会」への寄付  
 【1億円】

■遺児家庭への支援を目的とした寄付を実施

Jリーグとの「特別協賛」契約に基づく取組み

■Jリーグと協働し地域の魅力を紹介する情報サイトの展開や自宅で実施可能なエクササイズ動画の配信を実施

「道の駅」健活プロジェクトの取組み

■全国の「道の駅」を対象に、新型コロナウイルス感染防止対策の支援を実施

「地元の元気応援寄付」の実施  
 【全国748団体に総額約2億円】

【追加】

■第3波の到来をふまえ、地域社会支援の一環として、当社拠点が所在する自治体や連携協定を締結した自治体等に寄付を実施

■上半期に続き、東京都と大阪府に各1,000万円を追加寄付

「あしなが育英会」への追加寄付  
 【総額5,000万円】

【追加】

■毎年実施している従業員募金と、会社拠出とのマッチングによる追加寄付を実施

Jリーグクラブ等への追加支援

【追加】

■各クラブが安定的に競技や地域貢献に取り組める環境づくりのため追加支援を実施

## ■ 新型コロナウイルス感染症に関する主な取組み

従業員	新型コロナウイルス感染防止の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全営業職員に貸与している社用スマートフォン（MYフォン）に新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を導入するとともに、役職員にもアプリ導入を推奨</li> </ul>	
	感染予防対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 感染予防対策として、出社前の検温、お客さまへの事前のアポイントを前提とした訪問営業、マスクの着用等を推進</li> <li>■ お客さまと従業員の安心・安全確保の観点から、緊急事態宣言の再発令地域で勤務する営業職員のうち希望する1.1万人を対象に、「社費によるスクリーニングPCR検査」を実施</li> </ul>	【追加】
	テレワークの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テレワーク・時差出勤の積極的な活用を推進。また、地方在住職員を対象に、テレワークを積極活用し、転居を伴わずに本社職務に従事する「リモート型」の試験展開を2021年度から実施</li> <li>■ テレワークのさらなる推進として、緊急事態宣言が発令されている10都府県および緊急事態宣言が解除された栃木県では出勤者数の7割削減を実施（2021年2月12日時点）</li> </ul>	【追加】

## ■ 経営計画体系の見直し

2020年度は、保険金・給付金のお支払い等の基幹業務の確実な実行と、コロナ禍においてもお客さまに寄り添ったアフターフォローを提供できる態勢構築を優先し、単年度の経営計画「とことん！アフターフォロー特別計画」を推進

経営目標等	業績目標は設定せず、アフターフォローの進捗を測る指標等を「経営目標」に設定 また、その効果を測る「確認指標」と経営品質等を測る「検証指標」によって運営	
重点方針	お客さま志向の取組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険金・給付金のお支払い等の確実かつ丁寧な実行</li> <li>・ お客さまへのきめ細やかなアフターフォロー</li> </ul>
	コロナ禍をふまえた追加的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非対面インフラの整備・拡充</li> <li>・ 2「大」プロジェクトおよび社会貢献に関する取組みの推進</li> </ul>
	4「大」改革の先行実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021年度からスタートする3ヵ年プログラム「MY Mutual Way I期」で予定する4「大」改革の一部先行実施</li> </ul>

## 特別取扱いの申込状況、新型コロナウイルス感染症にかかる保険金等の支払状況

### ■ 特別取扱いの申込状況

	～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
保険料払込猶予期間の延長 <small>(注1) (注2)</small>	約0.4万件	約0.4万件	約0.2万件	約0.1万件	約0.06万件	約0.04万件	—	—	—	約1.2万件
新規の契約者貸付 <small>(注3)</small>	約4.2万件	約2.5万件	約1.8万件	—	—	—	—	—	—	約8.6万件

(注1) 保険料払込猶予期間の延長は2020年9月30日まで

(注2) 2021年1月7日、13日に発令された緊急事態宣言の対象地域に対する保険料払込猶予期間の延長は2021年7月31日まで

(注3) 受付期間は2020年6月30日まで

### ■ 新型コロナウイルス感染症にかかる保険金等の支払状況

	～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死亡保険金	2件 580万円	19件 約1.0億円	27件 約1.6億円	18件 約1.1億円	7件 約0.4億円	18件 約0.4億円	21件 約1.1億円	22件 約3.1億円	30件 約1.6億円	164件 約10.8億円
うち 災害死亡保険金	0件 0円	3件 305万円	6件 約0.2億円	6件 約0.1億円	2件 113万円	4件 203万円	1件 500万円	5件 約0.3億円	3件 約0.1億円	30件 約0.9億円
入院給付金	16件 292万円	92件 約0.1億円	264件 約0.8億円	104件 約0.2億円	219件 約0.2億円	362件 約0.5億円	444件 約0.5億円	387件 約0.4億円	738件 約0.8億円	2,626件 約3.9億円

## Ⅱ. 2020年度第3四半期報告のポイント

### 1 「とことん！アフターフォロー特別計画」の経営目標は順調に進捗

- ・2020年度の「とことん！アフターフォロー特別計画」において経営目標に掲げる「お客さまアクセス数（個人営業・法人営業）」および「アドバイザー（営業職員）数」は順調に進捗

### 2 保険料等収入はグループ・単体ともに「減収」、基礎利益はグループ・単体ともに「減益」

- ・保険料等収入は外貨建て一時払保険の販売量減少等を主因とした明治安田生命単体の「減収」により、グループで1兆9,858億円と前年同期比6.9%の「減収」。  
 なお、スタンコープ社は主力の団体保険事業が堅調に推移したことにより、2,262億円と前年同期比4.0%の増収
- ・基礎利益はグループ・単体ともに「減益」となるも、2017年度以降の過去3ヵ年水準を維持しており、引き続きグループ・単体ともに安定した水準を確保

### 3 財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持

- ・ソルベンシー・マージン比率は連結・単体ともに1,000%超え。連結では1,124.8%と引き続き高い健全性を維持

### 4 2020年度通期では、グループ・単体ともに「減収減益」の見通し

- ・2020年度通期の保険料等収入・基礎利益は、不安定な金融環境の影響等をふまえ、グループ・単体ともに「減収減益」となる見通し（2020年度上半期報告時から変更なし）

Ⅲ. 「とことん！アフターフォロー 特別計画」 経営目標進捗状況

項目		2020年度 目標値	実績値 (注5)	
			実績値	目標 達成率
お客さまアクセス数 (個人営業) (注1)		500万人	458.0万人	91.6%
お客さまアクセス数 (法人営業)	団体保険 加入者 (注2)	250万人	184.5万人	73.8%
	団体保険等 窓口 (注3)	6,800団体	6,655団体	97.9%
アドバイザー (営業職員) 数 (注4)		34,500人 (前年差+約1,000人)	35,602人 (2020年度始差+2,135人)	103.2%

- (注1) 営業職員等が対面・非対面を通じてアクセスした生命保険契約者の人数。  
なお、営業職員の当社呼称は「MYライフプランアドバイザー」(以下、アドバイザー)
- (注2) 法人営業担当等がアクセス(団体・事業所を通じて行なう場合を含む)した任意加入の団体保険加入者の人数
- (注3) 法人営業担当等がアクセスした既契約・窓販商品供給団体の団体数
- (注4) 目標値は2021年度始の人数
- (注5) 「お客さまアクセス数(個人営業)・(法人営業)」は2020年度第3四半期累計値、  
「アドバイザー(営業職員)数」は2021年1月1日時点

- 「お客さまアクセス数(個人営業)」は458.0万人(目標達成率91.6%)と順調に進捗
- 「お客さまアクセス数(法人営業)」は団体保険加入者・窓口とも、順調に進捗
- アドバイザー(営業職員)数は目標達成率103.2%と目標を超過

## IV. 明治安田生命グループの業績

### 1. グループ保険料、グループ基礎利益

#### ■ グループ保険料

(単位: 億円)

	2020年度 第3四半期連結累計期間		前年同期比	2019年度 第3四半期 連結累計期間
グループ保険料 (注1)	19,858	△6.9%		21,319
明治安田生命単体	17,426	△8.1%		18,959
海外保険事業等 (注2)	2,431	+3.0%		2,359
うちスタンコープ社	2,262	+4.0%		2,176

○グループ保険料は、明治安田生命単体の外貨建て一時払保険の販売量減少および団体年金保険の前年同期からの反動減を主因として、1兆9,858億円と前年同期比6.9%の減収

#### ■ グループ基礎利益

(単位: 億円)

	2020年度 第3四半期連結累計期間		前年同期比	2019年度 第3四半期 連結累計期間
グループ基礎利益 (注3)	4,051	△2.2%		4,141
うち明治安田生命単体	3,668	△0.9%		3,703
うち海外保険事業等 (注2)	411	△19.0%		507
うちスタンコープ社	286	△24.0%		377

○グループ基礎利益は、明治安田生命単体・海外保険事業等の減益により、4,051億円と前年同期比2.2%の減益となるも、2017年度以降の過去3ヵ年水準を確保

#### ■ グループ基礎利益の推移



(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月

(注3) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値

## IV. 明治安田生命グループの業績

### 2. 連結ソルベンシー・マージン比率

#### ■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位: %)

	2020年度 第3四半期連結期間末	
		前年度末差
連結ソルベンシー・マージン比率	1,124.8	△18.8 <sup>ポイント</sup>
(参考) 明治安田生命単体	1,050.4	△18.9 <sup>ポイント</sup>

2019年度末
1,143.6
1,069.3

○連結ソルベンシー・マージン比率は、金融環境の変動等により、1,124.8%と前年度末から18.8ポイントの減少となるも引き続き高い健全性を維持

#### ■ 連結ソルベンシー・マージン比率の推移



## V. 明治安田生命単体の業績

### 1. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

#### ■ 保険料等収入の状況

(単位: 億円)

	2020年度第3四半期累計期間		2019年度第3四半期累計期間	
		前年同期比		
保険料等収入	17,426	△8.1%	18,959	
うち個人保険・個人年金保険	11,379	△6.6%	12,180	
うち営業職員チャンネル	9,568	△5.2%	10,093	
うち平準払保険	9,104	△1.5%	9,245	
うち一時払保険	463	△45.3%	847	
うち銀行窓販チャンネル	1,546	△14.5%	1,808	
うち団体保険・団体年金保険	5,693	△12.4%	6,496	

○保険料等収入は、外貨建て一時払保険の販売量減少および団体年金保険の前年同期からの反動減を主因として、1兆7,426億円と前年同期比8.1%の減収

- ・営業職員チャンネルの平準払保険は前年同期比1.5%の減少にとどまる

#### ■ 新契約年換算保険料の状況 (個人保険・個人年金保険)

(単位: 億円)

	2020年度第3四半期累計期間		2019年度第3四半期累計期間	
		前年同期比		
新契約年換算保険料	673	△11.5%	760	
うち営業職員チャンネル	595	△10.7%	667	
うち銀行窓販チャンネル	65	△16.2%	78	
うち第三分野 <sup>(注)</sup>	254	△14.1%	296	

○新契約年換算保険料は、営業活動自粛の影響等により前年同期比11.5%の減少。対面・非対面を融合した営業活動が本格化した7月以降の業績は徐々に回復傾向にあり、第3四半期の業績は昨年水準まで回復

#### ■ 保有契約年換算保険料の状況 (個人保険・個人年金保険)

(単位: 億円)

	2020年度第3四半期会計期間末		2019年度末	
		前年度末比		
保有契約年換算保険料	21,978	△1.3%	22,267	
うち第三分野 <sup>(注)</sup>	4,527	+1.7%	4,452	

○第三分野保有契約年換算保険料は、コロナ禍での医療保障ニーズの高まりを受けた解約・失効の減少等により、前年度末比1.7%の増加

(注) 第三分野は、医療保障給付、生前給付保障給付、保険料払込免除給付等に該当する部分を計上

2. 基礎利益

■ 基礎利益の状況

(単位: 億円)

	2020年度 第3四半期累計期間		前年同期比	2019年度 第3四半期累計期間	
基礎利益	3,668	△0.9%		3,703	
うち利息及び配当金等収入	5,837	△2.9%		6,013	

○基礎利益は、利息及び配当金等収入の減少、新型コロナウイルス関連の対策費用の増加等の影響により、3,668億円と前年同期比0.9%の減益となるも、2017年度以降の過去3カ年水準を確保

■ 基礎利益の推移



V. 明治安田生命単体の業績

3. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

■ ソルベンシー・マージン比率

(単位:億円、%)

	2020年度 第3四半期会計期間末		2019年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率 <sup>(注1)</sup>	1,050.4	△18.9ポイント	1,069.3
ソルベンシー・マージン総額 (A)	84,295	+9,982	74,312
リスクの合計額 (B)	16,049	+2,150	13,899

(注1) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

○ソルベンシー・マージン比率は、金融環境の変動等を受けて1,050.4%と前年度末差18.9ポイントの減少となるも引き続き高い健全性を維持

■ 実質純資産額

(単位:億円、%)

	2020年度 第3四半期会計期間末		2019年度末
		前年度末差	
実質純資産額	103,321	+8,354	94,966
一般勘定資産に対する比率	25.5	+1.0ポイント	24.5

○実質純資産額は、10兆3,321億円と引き続き高い財務健全性を確保

■ オンバランス自己資本

(単位:億円)

	2020年度 第3四半期会計期間末		2019年度末
		前年度末差	
オンバランス自己資本 <sup>(注2)</sup>	38,474	+1,148	37,326

(注2) 資本金が比較的強いと考えられる部分に限定した内部留保、外部調達資本等

○オンバランス自己資本は、内部留保の積み増し等により、3兆8,474億円と前年度末から1,148億円の増加

## V. 明治安田生命単体の業績

### 4. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

#### ■ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位: 億円)

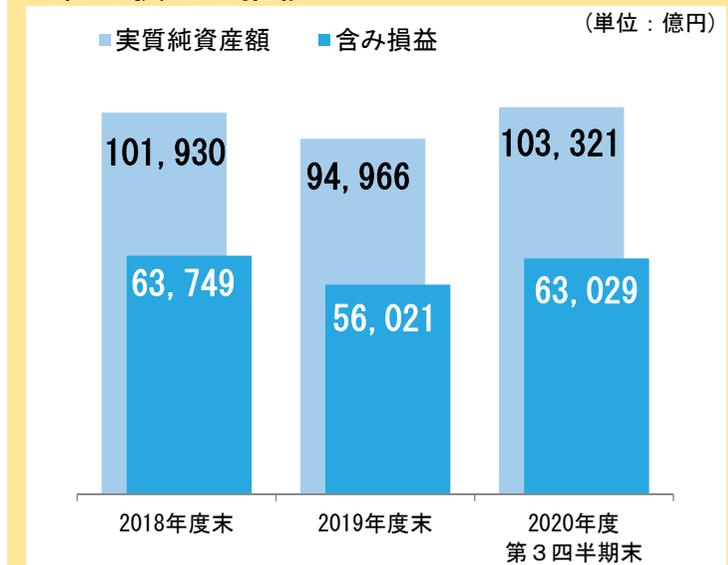
	2020年度 第3四半期会計期間末		2019年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	63,029	+7,008	56,021
うち時価のある有価証券(注1)	57,888	+7,257	50,631
うち公社債	24,222	△2,101	26,324
うち株式	26,291	+8,729	17,561
うち外国証券	6,511	△46	6,557
うち不動産	5,474	+46	5,428

(注1) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

○一般勘定資産全体の含み損益は、6兆3,029億円と前年度末差7,008億円増加

・株式の含み損益は、株価上昇に伴い、月中平均価格ベースで2兆6,291億円と前年度末差8,729億円増加

#### ■ 含み損益の推移



#### ■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオがTOPIXにフル連動とした場合

	2020年度 第3四半期会計期間末(注2)	2019年度末
TOPIXベース	660ポイント程度	660ポイント程度

(注2) 日経平均株価ベースでは10,000円程度

V. 明治安田生命単体の業績

5. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

■ 解約・失効・減額率(注1)の状況(個人保険・個人年金保険)

(単位:%)

	2020年度 第3四半期累計期間		前年同期差	2019年度 第3四半期累計期間
	解約・失効・減額率	2.86		
解約・失効・減額率	2.86	△0.14ポイント		3.00

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合。保険料払込猶予中の契約は有効契約として算出

■ 総合継続率(注2)の状況(個人保険・個人年金保険)

(単位:%)

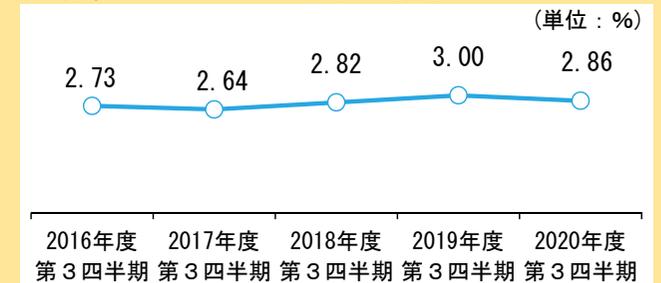
	2020年度 第3四半期累計期間		前年同期差	2019年度 第3四半期累計期間
	13月目総合継続率	95.3		
13月目総合継続率	95.3	+0.8ポイント		94.5
25月目総合継続率	88.8	0.0ポイント		88.8
61月目総合継続率	70.8	△0.5ポイント		71.3

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出。保険料払込猶予中の契約は有効契約として算出

○ 契約クオリティを示す指標は、引き続き良好に推移

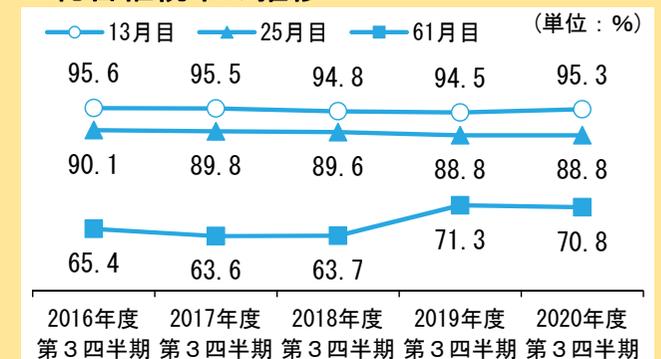
・ 解約・失効・減額率は、2.86%

■ 解約・失効・減額率の推移



・ 総合継続率は、13月目・25月目・61月目ともに高水準を維持

■ 総合継続率の推移



## VI. スタンコープ社の業績【参考】

### スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

#### ■ 保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況 (注1)

(単位:億円)

	2020年度 第3四半期累計期間		前年同期比 (注2)	2019年度 第3四半期累計期間
保険料等収入	2,262	+4.0%		2,176
基礎利益相当額 (注3)	286	△24.0%		377
当期純利益	156	△35.5%		243

\* 2019年度第3四半期は2019年9月末の為替レート (1米ドル=107.92円)、  
2020年度第3四半期は2020年9月末の為替レート (1米ドル=105.80円) で円換算

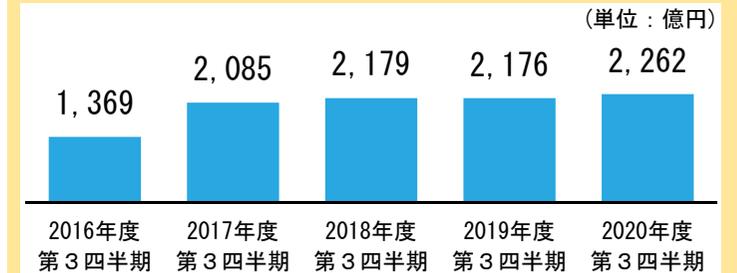
(注1) スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月分

(注2) 現地通貨ベースでの前年同期比は保険料等収入+6.1%、基礎利益相当額△22.5%、当期純利益△34.2%

(注3) 基礎利益相当額は、税引前利益からキャピタル損益や買収会計に伴う無形資産償却費用等を控除したもの

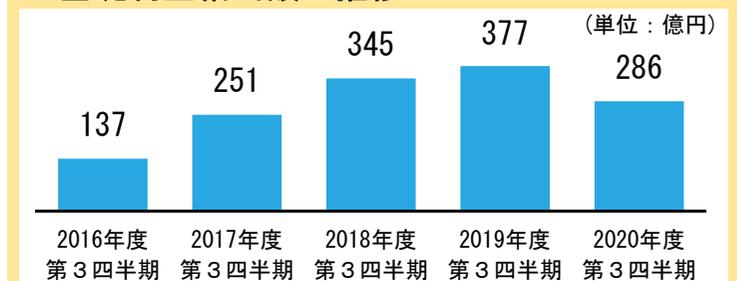
○ 保険料等収入は、主力の団体保険事業で新契約および既契約更新が良好に推移した結果、2,262億円と前年同期比4.0%の増収

#### ■ 保険料等収入の推移



○ 基礎利益相当額は、米国での新型コロナウイルス感染拡大に伴う死亡保険金の支払い増加等により、286億円と前年同期比24.0%の減益

#### ■ 基礎利益相当額の推移



## VII. 業績見通し

### 2020年度業績見通し

#### ■ グループ保険料の見通し

	2020年度見通し	前年度比	2019年度実績
グループ保険料 <sup>(注1)</sup>	26,400億円程度	減少(91%)	29,118億円
うち明治安田生命単体	23,100億円程度	減少(89%)	25,933億円
うちスタンコープ社	3,020億円程度	横ばい(103%)	2,944億円

#### ■ グループ基礎利益の見通し

	2020年度見通し	前年度比	2019年度実績
グループ基礎利益 <sup>(注2)</sup>	5,100億円程度	減少(80%)	6,355億円
うち明治安田生命単体	4,800億円程度	減少(81%)	5,916億円
うちスタンコープ社	350億円程度	減少(71%)	493億円

○保険料等収入・基礎利益は、不安定な金融環境の影響等をふまえ、グループ・単体ともに「減収減益」となる見通し  
(2020年度上半期報告時から変更なし)

※業績見通しは、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値